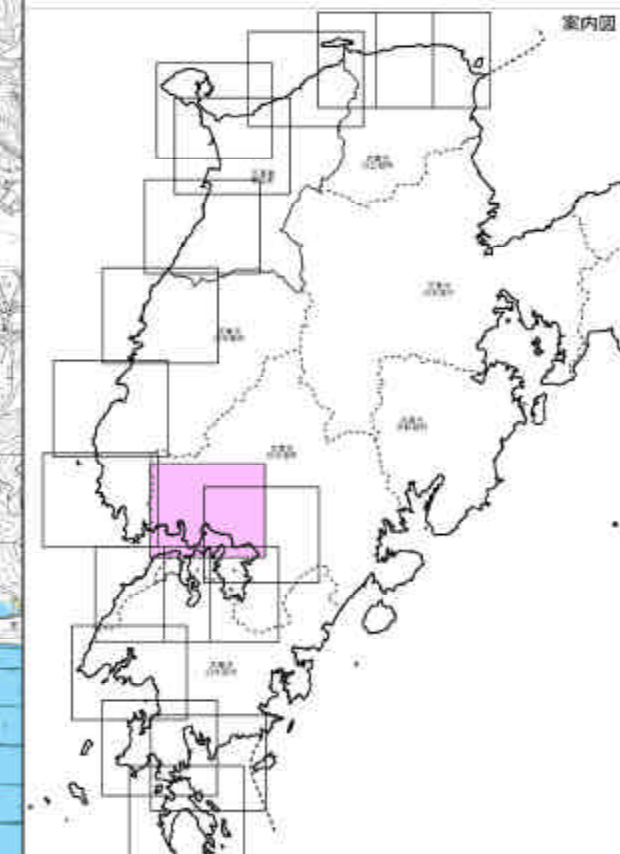


高潮浸水想定区域図(旧河浦町) 1/4

1. 説明文
- この図は、太平洋沿岸(東北-関東)において、太平洋沿岸域を中心とした過去の地震観測資料に基づいた数値シミュレーションによる想定される最大規模の巨震により起こされる高潮、高津浪により想定される浸水想定区域と、当該区域が浸水した際に想定される水深を予測したものである。
  - この浸水想定区域は、太平洋沿岸(東北-関東)における巨震時の震源位置及び深さ、震動の震度状況等を勘案して、想定最大の高潮、高津浪により想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものである。
  - なお、このシミュレーションの算出においては、巨震からの浸水の巨震、想定される高潮、高津浪による浸水等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する可能性や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

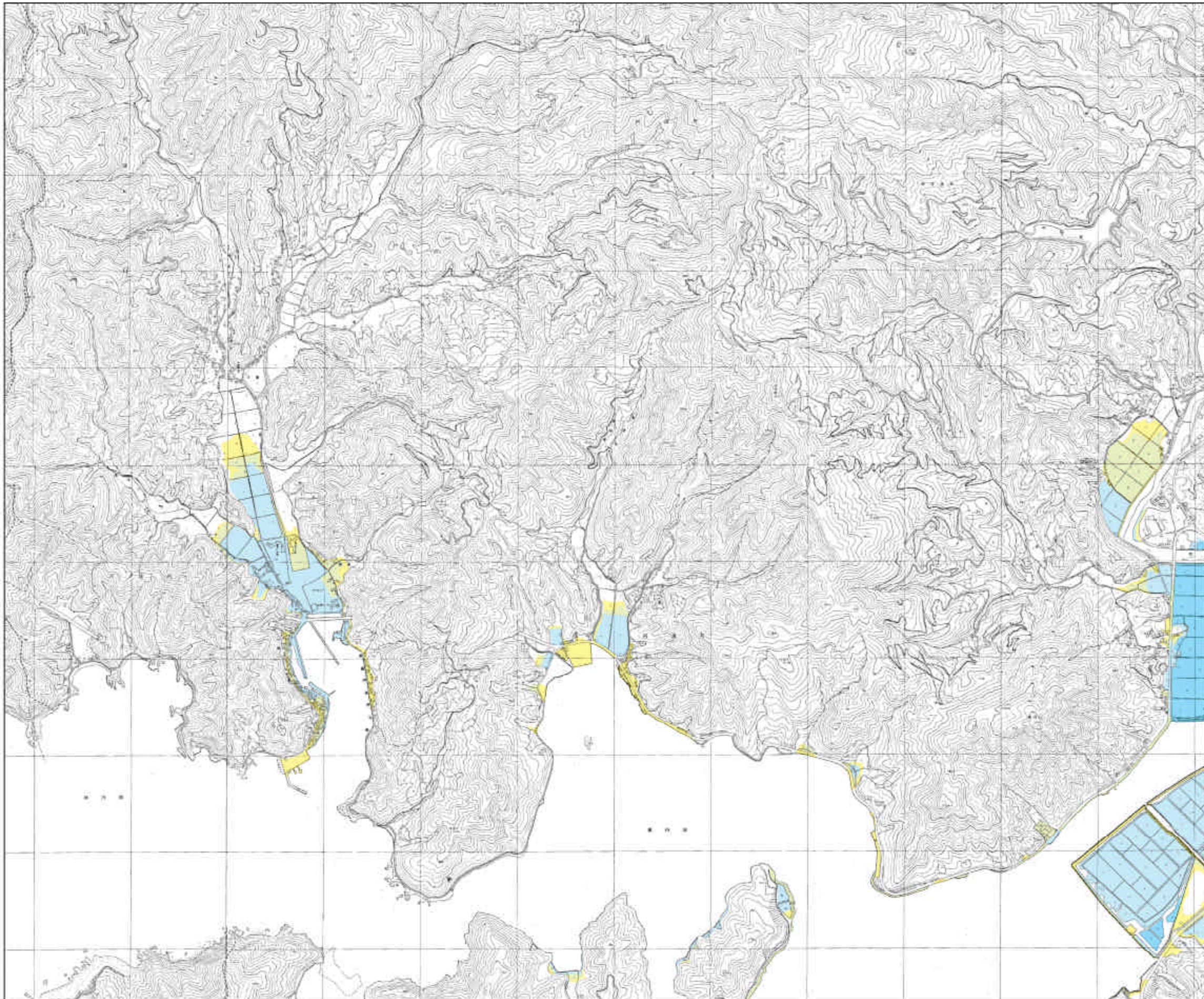
2. 基本事項
- 作成主体 気象庁気象研究所
  - 作成年月日 平成20年1月
  - 対象となる地域 気象庁、東北地方
  - 作成の目的となる目的、用途 防災計画の策定に際して想定される最大規模の巨震を想定し、その浸水想定区域、最大水深は、最大規模の巨震と同時発生するとして算出されています。
  - 関係する法令 気象庁、東北地方
  - その他特記事項 気象庁及び関係機関との協議による記載は考慮していません。



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)及び浸水の目安

0.5m未満の区域	0.5mは大人の膝まで浸水する高さ。水深0.5mは大人の膝まででなく、通常の生活は、エンジェルルームへの浸水が想定される。
0.5m～1.0m未満の区域	1.0mは大人の腰まで浸水する高さ。浸水や高津浪による、浸水物や遺物の流出などが発生し、浸水による被害が想定される。一般に、子供やお年寄りなど、災害弱者の被害は想定される。
1.0m～2.0m未満の区域	2.0mは1階軒下まで浸水する高さ。様々な浸水物も流出することもあり、避難の危険がある。水圧が各階に上昇する場合は、浸水は水平力により浸水する危険性がある。浸水は想定される。一般に、浸水による被害は想定される。
2.0m～5.0m未満の区域	2階の軒下まで浸水する高さ。浸水は想定される。一般に、浸水による被害は想定される。浸水による被害は想定される。浸水による被害は想定される。
5.0m以上の区域	浸水による被害は想定される。浸水による被害は想定される。浸水による被害は想定される。



この地図は、気象庁気象研究所が作成した地形基本図データをもとに作成したものである。(地図番号 気象庁第102号-平成19年7月17日)